

第9回 三経連経済懇談会
決議と要望事項

個性と魅力あふれる
地域の創造

平成16年10月20日

北海道経済連合会
(社)東北経済連合会
北陸経済連合会

第9回 三経連経済懇談会 決議と要望事項に関するお願い

北海道経済連合会、(社)東北経済連合会、北陸経済連合会は、平成16年8月26日、福井県あわら市において開催した第9回三経連経済懇談会において、個性と魅力あふれる地域の創造ため、別紙1の決議を行いました。

この決議にもとづき、三経連は、別紙2の要望事項を取りまとめましたので、国や関係機関におかれましては、その実現に格別のご高配を賜りますよう強くお願い申し上げます。

平成16年10月20日

北海道経済連合会

会長 南山英雄

(社)東北経済連合会

会長 八島俊章

北陸経済連合会

会長 山田圭藏

第9回 三経連経済懇談会 決議

北海道経済連合会、(社)東北経済連合会および北陸経済連合会は、地域経済の現状と課題を踏まえ、広域的な地域連携を強化し、その地域の自立を図るため、「個性と魅力あふれる地域の創造」を基本テーマに、第9回三経連経済懇談会を福井県あわら市において開催し、真摯な討議を行った。

その結果、下記の点において意見が一致し、今後とも相協力して、国等への働きかけを行っていくことを確認した。

記

1. 景気対策の早期実施

わが国経済は、輸出、設備投資の増加などにより、企業収益や企業の業況感は幅広い分野で改善が続き、雇用面にも改善の動きがみられるなど、回復を続けている。しかし、個々にみると、地域間、業種間、企業間ではむしろ格差が広がり、回復傾向を実感できる状況にはない。

このような状況の下、我々は地方の実情に配慮しつつ、デフレ阻止、雇用対策など一段の景気浮揚策が早期に打ち出されることを強く要望する。

2. 地域経済の自立と発展を支える社会資本整備の促進

地域の魅力を高め、地域の自立と発展を支えるための基礎となる社会資本の整備は、未だ立ち遅れており、新幹線をはじめ高規格幹線道路、空港、港湾等の高速交通体系の整備が不可欠である。

国においては、「地方の自立なくして日本の再生と発展はない」との認識のもと、真に必要な公共投資の重点化を行いながら、地方の意見を十分に反映した社会資本整備を促進するよう強く要望する。

3. 産業活性化を支援する諸施策の推進

我々は、地域経済を活性化し、一日も早い企業の自立的回復を図るため、「北海道産業クラスター創造活動」「東北ベンチャーランド推進事業」「北陸STC(スーパー・テクノ・コンソーシアム)事業」などにより、既存産業の高度化や新技術・新産業の創出を強く推進しているところである。

しかし、こうした取り組みが成果をあげるために、新技術・新産業の創出、育成に係わる産学官連携の推進、研究開発基盤の強化、ベンチャー企業に対する金融面等の支援措置の整備、中小企業活性化のための環境整備、税制の見直しなど、引き続き国等による支援体制の一層の強化を要望する。

4.実効ある地方分権の推進

個性と魅力あふれる地域の創造を地方が自主的に進めていくためには、地方分権の推進は喫緊の課題であり、地方への権限委譲と、税財源の弱体な地方に配慮した財政基盤の確立が必要である。

現在、国は三位一体改革、市町村合併の推進および北海道を先行モデルとする道州制などの問題に取り組んでいるが、地方にはそれぞれ異なる事情があり、画一的な制度の導入は地方の活力を失わせることにもなるため、地方の意見を十分斟酌した制度構築を要望する。

5.広域交流圏形成の推進

経済のグローバル化が進展し国境を越えた様々な活動が活発化するなか、各地方は世界に開かれた地域づくりに向け、広域的な国際交流の推進に努めている。特に、我々三経連をつなぐ日本海国土軸は日本海を介した交流の軸であり、北東アジア諸国と広域国際交流圏の形成に取り組んでいるところである。

国においては、個性豊かで魅力ある世界に開かれた地域づくりや、物流ネットワーク等国際交流基盤の整備、情報発信機能の強化に対し、支援体制の強化を要望する。

以上決議する。

平成16年8月26日

北海道経済連合会
(社)東北経済連合会
北陸経済連合会

要 望 事 項

1. 景気対策の早期実施

- (1) 地域の自立発展を促すための17年度予算編成
- (2) 地域経済の本格的な回復を促すためのデフレ対策及び雇用対策の実施

2. 地域経済の自立と発展を支える社会資本整備の促進

- (1) 北陸新幹線、東北新幹線の早期完成及び北海道新幹線の全線フル規格での早期着工
- (2) 高規格幹線道路の整備促進
 - ・北海道横断自動車道、北海道縦貫自動車道
 - ・日本海沿岸東北自動車道、常磐自動車道、三陸縦貫自動車道、東北中央自動車道
 - ・東海北陸自動車道、能越自動車道、舞鶴若狭自動車道、中部縦貫自動車道
- (3) 住民生活の利便性向上に資する光ファイバー網等の高度情報通信基盤の整備促進と地域間の情報通信格差是正

3. 産業活性化を支援する諸施策の推進

- (1) 新技術・新産業の創出、育成に係わる研究開発基盤の強化
- (2) 資金供給の円滑化やエンジェル税制の拡充
- (3) 知的財産取得関係費用の助成等、中小・中堅企業及びベンチャー企業への各種支援制度の充実

4. 実効ある地方分権の推進

- (1) 所得税の一定割合の地方への移譲及び消費税の国と地方の分配比率変更による地方自主財源の充実
- (2) 財源調整機能を有する地方交付税制度の存続

5. 広域交流圏形成の推進

- (1) 広域交流圏形成のための日本海国土軸及び北東国土軸に必要な高速交通体系や情報発信機能の整備促進
- (2) 交流の拠点となる国際空港・港湾等の機能強化及び整備促進

以上